５　業務責任者が過去に関わった事例について

|  |  |
| --- | --- |
| 業務責任者　氏名 |  |

　過去に関わった案件の中で最も代表的な1事例について、記載すること。

（１）当該事例の時期や規模等について記載すること

　　ア　業務名

　　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　　イ　顧客の業種（該当する番号に○をつけること）

　　　１　建設業　２　製造業　３　電気・ガス・熱供給・水道業

　４　運輸・通信業　５　卸売・小売業・飲食店　６　金融・保険・不動産業

　　　７　サービス業　８　情報サービス業　９　調査業・広告業

　　　10　医療・福祉業　11　農業・林業・漁業・鉱業　12　教育（学校・研究機関）

　　　13　官公庁・公益団体　14　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　　ウ　システムの対象業務の領域（該当する番号に○をつけること、複数選択可）

　　　１　経営・企画　２　会計・経理　３　営業・販売　４　生産　５　物流

　　　６　人事　７　管理一般　８　研究・開発　９　技術・制御

　　　10　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　　エ　総工数（該当する番号に○をつけ、括弧内に数字を記入すること）

　　　１　約（　　　　　　）人月　２　不明

　　オ　総額（該当する番号に○をつけ、括弧内に数字を記入すること）

　　　１　約（　　　　　　）千円（ハードウェア費用を含む）

　　　２　約（　　　　　　）千円（ハードウェア費用を含まない）　３　不明

　　カ　期間（該当する番号に○をつけ、括弧内に数字を記入すること）

　　　１　（　　　　　）年（　　　）月～（　　　　　）年（　　　）月

　　　２　不明

　　キ　役割（該当する番号に○をつけること）

　　　１　全体責任者　２　チームリーダー　３　チームサブリーダー

　　　４　担当者　５　企画・計画・開発などの技術支援者

　　　６　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

※　（１）当該事例の時期や規模等については、それぞれの項目に文字数の上限は設けないが、全体で1ページまでとする。

（２）当該事例の概要について記載すること

　　ア　背景、目的について

　　イ　業務の概要について

　　ウ　システムの構成について

　　エ　開発、改修の内容について

※　（２）当該事例の概要については、それぞれの項目に文字数の上限は設けないが、全体で1ページまでとする。

（３）当該事例において専門的立場から以下の観点で行った提案、助言、指摘等の内容について、以下のそれぞれの視点で記載すること

ア　ＩＴ投資案件の目的や課題解決策の適切度に関する視点

（客先等が望むシステム開発、改修の目的、また、行おうとするシステム開発、改修の内容や手法等が業務上の課題解決策として適切なものであるかといった視点でどのような活動を行ったか）

イ　費用対効果の視点

（システムの構築のみでなくその後の維持管理を含め確実な運用ができるものとなっているかといった視点や、システム化により現行事務量の削減などの定量化された費用対効果を図ることかできるかといった視点でのどのような活動を行ったか。）

ウ　費用の低減・適正化の視点

（システム開発、改修にあたり業務分析、要求定義などの作業見積等にどのような関与をしたか、また作業内容の工夫や業務管理といった視点でどのような活動を行ったか）

エ　セキュリティ対策の視点

（システム開発、改修に関係してどのようなセキュリティ対策活動を行ったか）

※　（３）当該事例における専門的立場からの提案、助言、指摘等の内容については、ア～エの項目ごとの上限を1ページまでとする。また、各観点について、業務委託仕様書に説明が記載されているので、熟読すること。